

160号

昭和38年12月15日発行

発行所 会津若松市
発行人 桜木幸次
編集 広報係
定価 5円

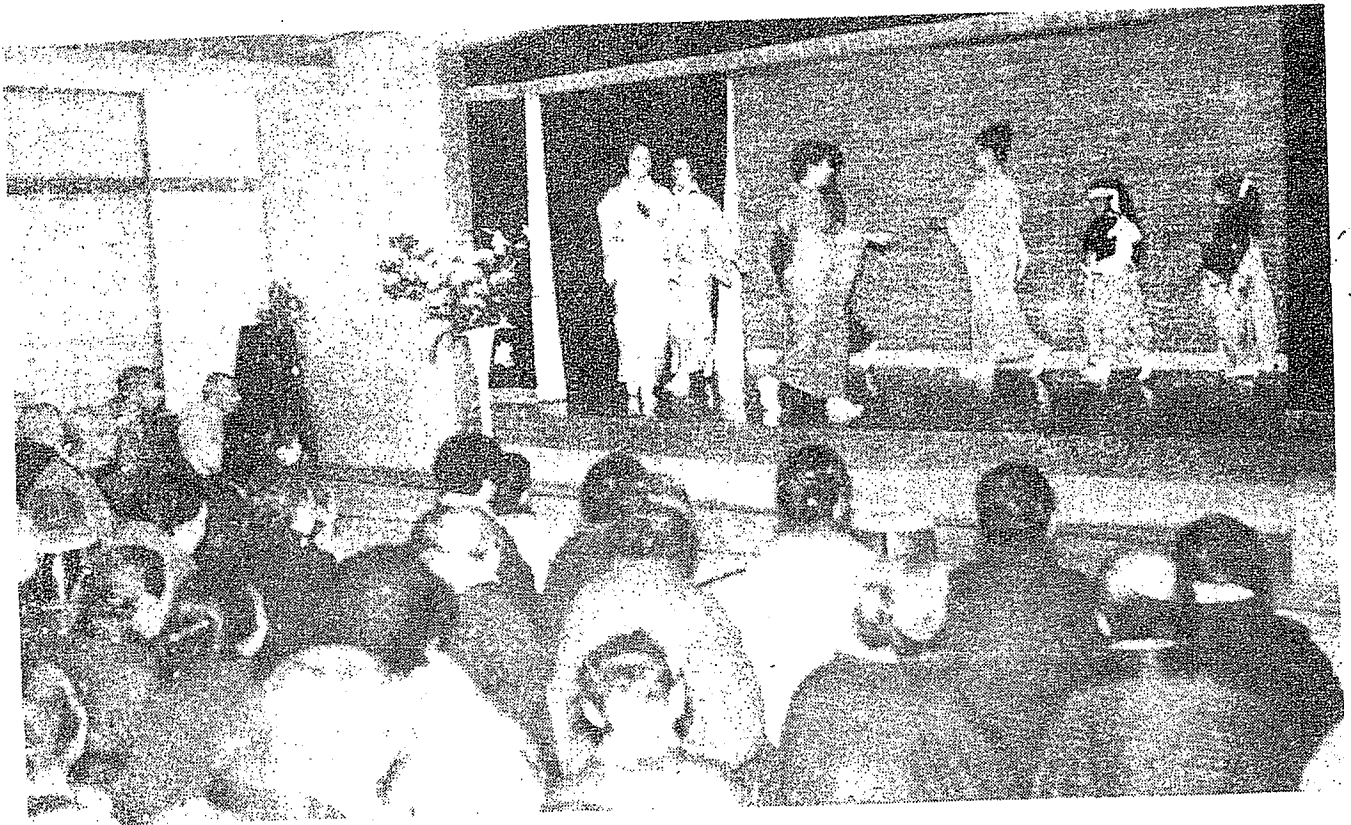
毎月1日・15日発行

会津若松

市政だより

昭和26年7月6日第三種郵便物認可

今号の主な内容
合併10年を迎えた会津若松
2頁~7頁
今年の主な市政のあしあと
8頁~9頁
おことわり 合併10年の歩
み一特集は、この他に水道
の拡張などの問題と将来へ
の展望もする予定でしたが、紙面の都合で、次回に
ゆずりたいと思います。



明日の群像 毎年あわただしい年の瀬に、楽しいクリスマス、明るいお正月を迎えられる様にと養老園を訪ずれ慰問を重ねているおどりの師匠さんと、かわいいお弟子さん達が
No.16 おります。その師匠さんは東山の花柳勝若さん(61才)です。花柳さんは、孤独にあけくれる事も多いみよりのない養老園のおとしより達を、なんらかの方法で慰めてあげたいというのが長い間の念願でありましたが、8年前からその実現に
養老園の慰問を続ける ぐい、下着類、みかんや酒、そして雑誌などを贈り物とし、またお弟子さんたちのおどりを披露して、おとしよりにひとときのいこいの場を与えております。
今年はおととしよりたちを大喜びさせました。
花柳さんは、「ごくあたりまえのことだと思います。でもおとしよりの人々が大変喜んで下さるので、ほんとうによかったという気持ちになります。」とおだやかな表情でお弟子さんたちと語っております。
写真=おどりを舞つてなくさめる花柳さんとお弟子さんたち

催し案内
『年少児童クリスマス映画会』
児童の健全育成をはかるために、子供のためのクリスマス映画会を開催します。日時は十二月二十二日(日)第一回午前十時(日新・行仁地区子供会)、第二回午後一時(鶴城・城西地区子供会)、第三回午後三時(護教・城北地区子供会)、場所は市民会館において、入場料は無料です。映画は市民ニュース、まんが、児童劇画。(福祉事務所)
●巡回映画会(話し合い学習)
十二月十六日(月)から二十日(水)まで大戸町各地区において、巡回映画会(話し合い学習)を行います。これまでの巡回映画会とはことなり各地域の課題に応じた希望するフィルムを上映し、その映画についてみんなで話し合うということが、この映画会のねらいです。(公民館)

新年名刺交換会 昭和39年
場所 市民会館式典 三、四階ホール(祝宴)
受付日 昭和三十八年十二月十日から二十日まで (厳守)
受付 市役所秘書課 市民相談係 市役所 玄関受付 商工会議所 以上四ヶ所の何れでも受け付けます。
会費三〇〇円
尚当日の受付はおことわりします
日時 昭和三十九年一月一日正午
主催 会津若松市・商工会議所・市議会・生活改善推進委員会



合併10周年を迎える会津若松

〈輝やかしい市政の足あとを顧みる〉

農業教育産業都市整備に 逞しい発展

昭和三〇年一月一日、若松市（町北村を含む）と東山、湊、一箕、高野、神指、門田および大戸の七村との合併が実現し、面積では実に二四倍、人口では一・六倍の九万八千人を抱く会津若松市が誕生しました。

農業人口が二一年の三・五パーセントから合併時には三〇パーセントに急増し、観光などサービス業が五パーセントから一二パーセントにふえたのに象徴されるように、市政においても農業と観光の分野が大きな位置を占めるようになりましたが、こうした新たな課題をひとつひとつ解決しながら、市政は十万人市民の福祉実現をめざして、たゆみなく進められていきます。

明年元日を以て合併後十年に入る本市の、ここ十年間の歩みをふりかえってみましょう。

合併で一躍三十八校に

約半数が危険校舎、すでに二十三校が増改築終る

教 育

合併がもたらした最も大きな課題は、或る意味では教育だったともいえるでしょう。

というのは、合併前には(1)小・中学校が僅か十校に過ぎなかったのが、合併により一躍三十九校（分校を含む）にはね上りしかもその校舎の約五〇パーセントが危険校舎であるというので、すなわち、想像もできないほどの状態だったのです。

そこに追い打ちをかけるように、昭和三〇年四月に

は一箕小・中学校が火災で殆ど焼かれてしまい、多くのピンチにおちいりましたが、こうした差し迫った事態を前にして、市では教育優先政策をとり、着実な努力を積み重ねた結果、今年の十二月現在で、二十三校七千三百坪の増改築をみごとになしとげ、危険校舎の解消もあと一息にこぎつき、こども達は明るい教室で、新しい学校生活を送ることができるようになりました。

また、学校給食の拡充や学校プールの設置も新しい市政の特色といえるでしょうが、ここで学校教育の上で特につけ加えたいのは三八年に始められた「プログラム学習」という、新しい教育方法の導入です。

これは、口にいえば、プログラムのよって、ひとりひとりの子どもが学習を進めていくという事で、現在主に実施されている一斉授業の学習の欠かみを補い、ひとりひとりの子どもに対して、きめのこまかな手をさしのべることができるようになりました。

このようにして、すべての子どもたちが将来幸福に生きていけるように

新しい教育はプログラム学習 全国平均を上回る学力

また、学校給食の拡充や学校プールの設置も新しい市政の特色といえるでしょうが、ここで学校教育の上で特につけ加えたいのは三八年に始められた「プログラム学習」という、新しい教育方法の導入です。

これは、口にいえば、プログラムのよって、ひとりひとりの子どもが学習を進めていくという事で、現在主に実施されている一斉授業の学習の欠かみを補い、ひとりひとりの子どもに対して、きめのこまかな手をさしのべることができるようになりました。

このようにして、すべての子どもたちが将来幸福に生きていけるように

また、その自主性とその能力を最大限に発揮できるように学習方法として考えたのがプログラム学習です。その意味で今後、子ども達の学力はますます向上するでしょう。

そうしたことを併行して本市では年々千二百万円にのぼる予算を計上して学校の教材や設備の充実をめざしており、それは県内でも極めて優位にあるようです。これら一連の市の努力

市民の文化活動高まる

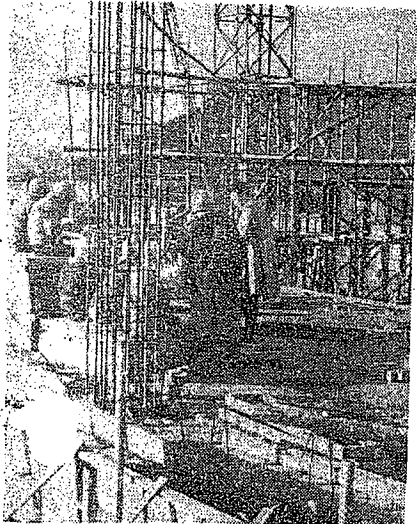
動く図書館『あいつね号』

更に広く本市の社会教育、動く図書館『あいつね号』や文化の面での足どりを辿がめざましい活躍を続けてみてみますと、公民館が昭和三年に市民会館とも博してきました。

和三年に市民会館とも博してきました。

更に昨年から、文化的に堂々完成し、一日も休むことなく広く市民に利用される市民団体の統一的な行事が、活動が続けられていまして、市民文化祭が文化の秋を彩ることとなり、文の高まりを上げる意味で三化運動をより上げる契機と七年には一箕町に、そして今年には湊町にそれぞれ立派な分館がつくられ、広く利用されています。

また、農山村にも文化を運ぼうというねらいで、



写真一 進む行仁小学校の改築工事

また、農山村にも文化を運ぼうというねらいで、

が実を結んだのででしょうか、昨年行われた学力テストの結果をみますと、新市・旧市の別なく本市児童の学力は、全科目にわたり優秀な成績をおさめ、例えば中学二年の数学では、全国平均が四〇・〇、福島県平均が三三・五であるのに対して本市は四〇・八、同じく三年の場合も全国四一・〇、県三五・〇に対して本市は四一・三と、県下の平均は勿論、全国平均を上まわり、学校によっては全国三一六校中、実に二三位という抜群の成績を収めているのもあり、向上の一端をたどりつつあります。

市長 横山 武

会津若松市が誕生してか、また市民生活の一層の向上に十年を迎えようとしてい、面における広域行政の推進もに、市政の進展に微力をと、中央幹線道路を中心とした都市計画道路の整備、父兄の教育負担問題の解決、学校施設の整備、住宅の大量建設、中小企業、農業施策の予定など、幾多の課題が横たわっております。

合併十年の新しい年を前にして、私達は敢しい反省と不動の決意にたつて、より豊かな、より美しい会津若松市の建設をめざして進めたいと念願致します。

昭和二十五年、戦後の

市財政の窮迫と学制改革（新制中学の発足による）校舎建設という課題を前に、ピンチ・ヒッターとして登場し、功罪論議をよそに十四年間総売上上げ五十七億円、謹教小の復興やお城の修理などのほか純収益三億六千万をあげ、市の事業の前進と市民会館の建設に大きく寄与しました。

県営会津競輪正式に廃止

は、平市が市営競輪であるのに対し、福島県が運営するものであることとご承知の通りですが、県は「競輪廃止」を強く打ち出し、一部には、年間四千万円の財源を失うよりは存続を、という声もありました。

更に、理在の競輪場は、約九千万円という莫大な

国民金融公庫の建設など

進められた金融政策

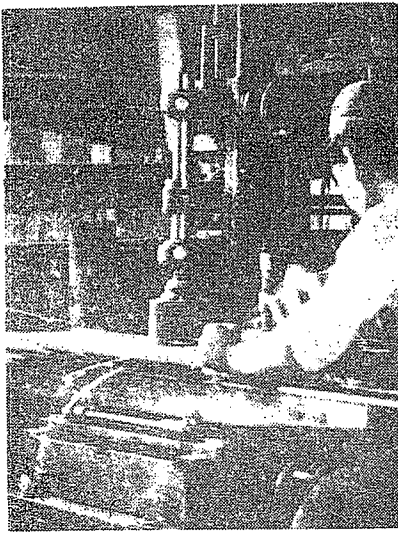
合併後の中小企業と観光の歩みと市の施設はどうだったでしょうか。

中小企業 合併後の中小企業と観光の歩みと市の施設はどうだったでしょうか。

地元産業の合理的発展を

物産開拓画期的な発展

次いで中小企業近代化の指導育成事業を活性化行なうて来ましたが、これらは、金融に非常に便利となり、利用者が殺到しました。その後、中小企業団中央会や県信用保証協会に市の資金を預託して信用を補完することにより、市内業者への融資枠を拡大することに努めてまいりましたが、これらの方法も非常に多く利用されてきています。そのほかにも、簡易小口資金保証金融制度を実施しており、一件二〇万円以内の小口資金は六月以内の期間で簡単に融通



写真=市の機械貸付で年々近代化される

更に、理在の競輪場は、約九千万円という莫大な財源を失うよりは存続を、という声もありました。更に、理在の競輪場は、約九千万円という莫大な財源を失うよりは存続を、という声もありました。

が、その後市、代化設備規模企業が圧倒的に多い本市の場合、その施策は単に中小企業対策だけでなく、業では百万円以内で貸付することに努めています。更に三十八年からは、店舗改造のための資金を市で融通する制度を新たに設けました。これは、三十八年に三三三年には県の中小企業振興協会に市で預託し、一般業者が容易に機械を借りられる方法を講じてきました。

寒さで水道の故障が多くなります

- 1、立上りパイプの露出部分には必ず防寒装置（ワラ又は布切れを巻く）をほどこす。
 - 2、夜おやすみ前に蛇口を乾いた厚布でカバーするか、細さで放水をしておく。
 - 3、もし凍結したら五、六分のお湯を、しつかにかけるとかすようにすること。
- 急に熱湯をかけることがありません。水道が故障した場合、直ぐ水道部給水係（電話三八三五番）又は最寄りの水道工事店にお申込み下さい。
- 水道部

断然群を抜く 道路舗装

—さらに中央幹線で都市整備計る—

都市・環境

ここ十年間に十ぬ努
万市民のための環
境は、どのように
整備されたでしょ
うか—市民の台所

に結びつき、日常生活の不快につながる市政の分野を、ここでは道路、衛生などいくつかに分けてみてみたいと思います。

道路は都市の動脈であるとともにいまでは市民の生活の一部になっていきます。合併によって、約九十軒の道路が約四倍の三五・五軒にふえましたが、従来は自己負担によって修繕されていた村道も市道となつて市の予算により整備されることになり、その経費も年々約三千万円に達してしま

すが、一般的に比べて本市の市道は、他の市町村にくらべてかなりよく整備されてきており、市の並々ならぬ努力のたまには、三十七年からは簡易舗装とど今後さらに住設は強力に行うものです。

いうコスト安の方法をとることに、より舗装面積を拡大し、全市の主要な市道を早くに舗装する努力を払っていますから、本市自慢の舗装道路は都心から郊外へ、

市民の生活環境を美化し、整備する場合、最も問題になるのは、密集した市街中心部のゴミ収集と尿処理であるといえましよう。

既に御承知のように、一億一千六百万円の尿処理場が完成しましたが、これにより悩みは殆ど解決するものと思われま

し尿処理場も完成

県下にさきがけてこみは定時集取

は市内大町を手に始めに定時集取の方法が採用され、現在中心一帯の約三千戸にまで拡大されました。この方法によるときま

東北で初めての試み 鶴ヶ丘団地

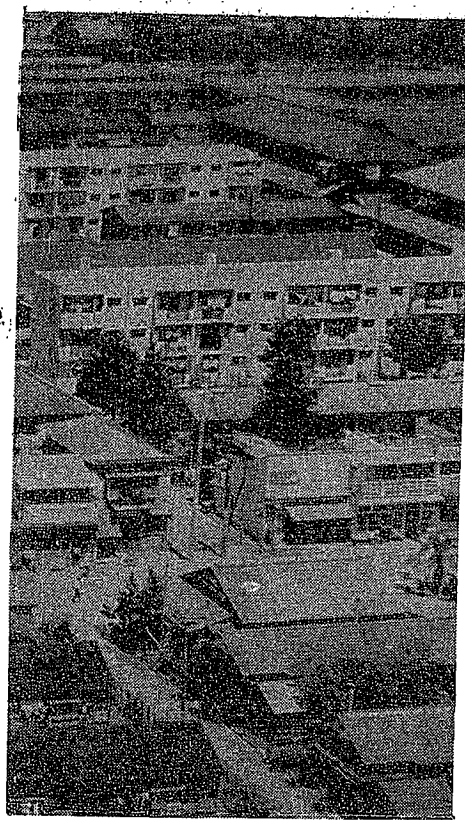
約八百戸の市営住宅

次に市営住宅をみてみます。市の住宅建設予算は三十八年度で約八千万円で総予算の七・五パーセントを占め、県下一を誇っています。それが、最近の人口、世帯数の増加などでまだ住宅難の状態であり、鶴ヶ丘団地な

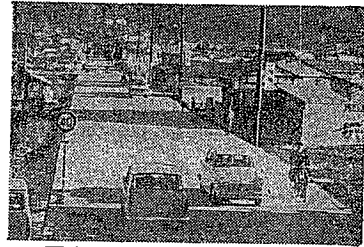
新設された火葬場

最新式の設備で

また火葬場も門田町黒岩地区内に総工事費約三千六百万円で移転新築中であり、これは最新式の重油ガスバーナ処理による四基の炉をもつ近代的なものであり、現在計画されてい



写真=空からの鶴ヶ丘街



写真=年々道路の整備は進む

フミキリを撤去します、注意して下さい

降雪期における鉄道輸送の確保のため、踏切交通量の少ない左記箇所の踏切敷板を例年のとおり十二月九日から当分のあいだ一時撤去することになりましたので、三輪車、オート三輪車、諸車の通行ができなくなりますのでご注意ください。

- 撤去する踏切敷板 (カッコ内名称、踏切種別)
- 西若松一門田間 (会津若松市門田大字日吉(第二新屋第4種) 門田大字徳久(焼場) 門田大字(下口) 門田大字(下住) 門田大字(上住) 門田大字(羽黒) 門田大字(黒坂) 門田大字(上三寄間) 門田大字(中島第4種) 門田大字(荒町) 門田大字(沢川) 門田大字(石ころ山) 門田大字(製板前) 門田大字(上雨屋) 門田大字(上雨屋) 門田大字(堂島屋) 門田大字(南原) 門田大字(舞台) 門田大字(桑原) 門田大字(上三寄) 門田大字(野地第4種) 門田大字(舟子街道) 門田大字(小塩) 門田大字(堰谷) 門田大字(桑原村道)
- 西若松一會津本郷間 門田大字日吉(第三日吉第4種) 門田大字(第一新屋) 門田大字(第二新寺) 門田大字(第三新寺) 門田大字(第五新寺)

住みよい都市造りのために

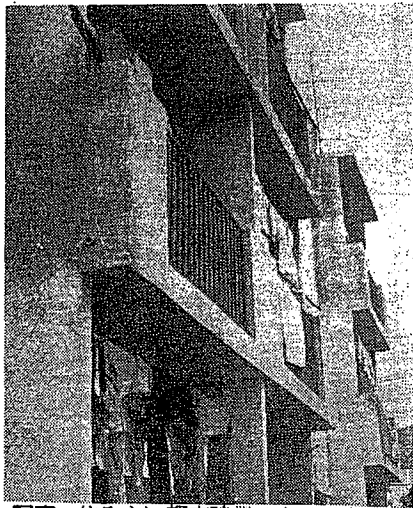
進められた福祉対策 子供会の活動も活潑に

社会福祉

合併後の会津若 たいへん地味な分野です。本市の子供会は、全国的に松一その市政の最が、市のケース・ワーカー ユニークな存在であること大目標は「福祉都」と七五名の民生委員の方にも、新市・旧市といった市の建設」という 々の努力は着々と実を結 合併後の観念的な「垣根」ことです。それは、生活保護を受ける恵ま をとりのぞく役割を果たして言葉をかえてい れない世帯の数も三〇年の いまです。

えは「十万市民の生活を守 四九六から現在三六〇世帯 本市には児童遊園地が二六ヶ所も設けられ、市の援助によりいろいろな遊具も整備されてきましたが、勤労市民のための保育所は七九〇名を収容保育してあり、安心して幼児を預けられるようになっていす。更に農家の人手不足の一助にという市の考え方から、農繁期には一三ヶ所の季節保育所が設けられていること、福祉行政の前進を物語

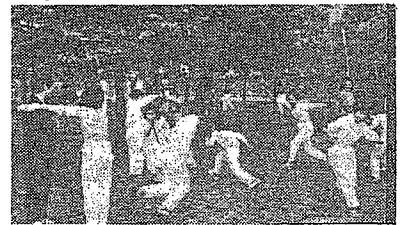
たといえましよう。 福祉という言葉から先ず また、これと並んで青少年の健全な成長をめざす青思ひ浮べるのは、市の福祉事務所だと思ひますが、こ少年問題協議会の活躍やよの分野での十年の歩みはどい子を育てるための子供会らだっただでしょうか。 は画期的ともいえるもので



写真一住みよい都市建設のため美しい住宅が建設されていく

また、身体障害や精神薄弱の人々のための新しい施設も充実していますが、今では全国的に行われている敬老年金を、本市では昭和三年にいち早く支給し、おとしよりを慰め、いたわる市政を進めてきました。

とここで福祉市政は以上のものでけにとどまりません。



写真二会津若松の子供会の活動は定評がある

鶴ヶ丘に初の児童館

子供に親しまれる設備

住宅といえば、連隊跡を児童館は、一般市民の集合改造して十五年間、いろいろな不自由を忍んできた鶴ヶ丘を、三十五年から七ヶ年間に明るい一大住宅団地につくり変えようとする鶴ヶ丘住宅改良事業は、文字通り画期的な市政のひとつであり、福祉都市にふさわしい試みでもあります。

社会保障につながる市政

更に社会保障につながる市政を眺めてみましょう。合併後三年目の昭和三十三年四月には、国民健康保険公営事業として全地域にわたり実施されましたが、三十七年に市国保被保険者が医療をうけた額は、二億六千七百七十五万四千円であり、その約半分の一億二千八百七十八万八千円が国と市が負担しており、今年四月一日からは世帯主に対しては三割負担の七割給付を全国に転じて、実施するというように、次第に国民健康保険事業の充実を図っています。こうして本市の福祉行政はきのうから今日へ、そして、今日から明日へと、一歩一歩進められているので

その上、一大団地である鶴ヶ丘の青少年の正しい成長を念願する市では、今年県下にさきがけて約五百万円による児童館を建設しました。遊戯室から図書室、集会室を備える立派なこの



菅井 仁

過日、ある新聞社の主催で、県内五市の青年会議所即ち郡山、白河、平、福島、会津の各理事長が集り、座談会を開いたことがあった。その席で平の常任理事が「会津は大変美しい。それは伝統と美しい自然環境に恵まれ、素直に育まれた会津人気質と、言うものが、落着いた雰囲気をもった受けつがれている。そして、その自然的環境には、すべて歴史的背景がある。」といっていた。

既存産業の強化を

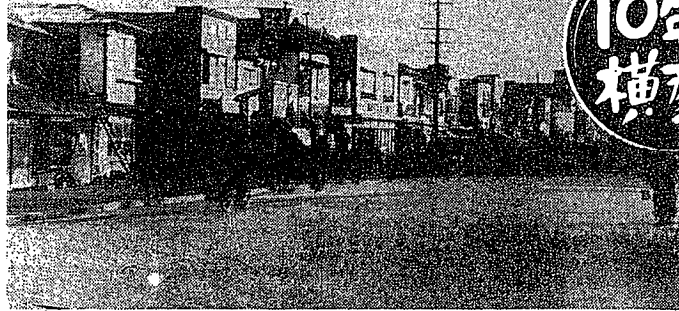
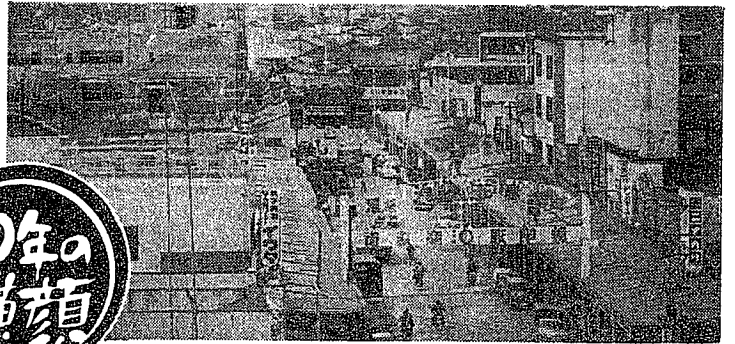
建設に目覚しい発展

越西線に準急号の上野直通が通るようになり、中央、郡山、新潟との距離も一段と近くなり経済交流に大きな役割を果たしている。併し、収入財源の少ない現在、観光会津の一枚看板では今後の発展は中々に期し難いと思う。

工業都市、生産都市は地理的条件から言って至難な道とは考えられるが、既存産業の育成と相まって、この問題についても真剣に取り組むときが、目のあたりにきているのではあるまいか。(会津若松市青年会議所理事長)

神明通り—それは近代都市として発展途上にある会津若松の姿をよく表わしている。

かって戦争により疎開道路として誕生して、戦後の混乱した社会情勢の中でたくましく発展し、次第に世の中が安定されると、補装も行なわれ昭和32年には、県下の大アーケードが完成しました。戦後の会津若松の発展を語る上に、神明通りの



繁栄と発展の歩みは欠かせないものの一つである。昭和38年の現在、この神明通りの姿は、店頭は美しく、華やかである、私たち市民はもとより、近郷近在の人々のよき憩いの場であり、生活に直接結びついた場でもある。きのうから今日、そして今日から明日へと歩む会津若松の姿を象徴するかのように、通りは活気に満ちている。

画期的に伸びた市の予算

事業設備費を重点に五ヶ年計画で住みよい都市造りに

財政

では市の台所の予算額はどうかと、いいますと三億一千万円だった予算が四億二千万円となり約一億円の増加にとどまりました。

昭和三十八年度においては市民所得の向上により、市の予算をささえる市税が合併当時と比較して約三倍の五億六千万円と順調な増加を示し、これにともない、予算額も約二・五倍の十億六千万円となっております。この予算をむだなく使用するため、長期にわたる財政計画を立てようと、後期五ヶ年計画が立てら

年度	当初予算額		最終予算額	
	金額	増加率	金額	増加率
昭29	312,810	100	427,787	100
30	381,646	122.0	511,229	119.5
31	397,682	127.1	529,508	123.8
32	428,565	137.0	571,363	133.6
33	482,529	154.3	567,666	132.7
34	568,176	181.6	662,712	154.9
35	556,985	178.1	740,719	173.2
36	669,400	214.0	881,136	206.0
37	808,751	258.5	1,081,705	252.9
38	956,993	305.9	1,067,933	249.6

美しい住みよい

会津若松に

これは新市の自然的、経済的、その他の条件に合った総合的な建設への基本方針をまとめたもので、この建設計画により、合理的な財政の運営につとめ、都市計画をはじめとする教育施設の整備・住宅の建設・あるいは福祉施設・環境衛生

以上、合併以来の本市の発展のあとを追ってきましまし、美しい住みよい会津若松をつくるために、福祉都市の建設のためにはたす努力を続けたいとてきたといえます。



水戸にお住いの友に会津の近況

競輪の収益が当時老朽舎の新築に役立つ事を考え合せ、競輪と教育との教育な運命に驚いています。そんなわけで貴女と積り積る話がいしたたく胸をふくらませてお待ち申し上げますわ。さあお互に交通事故や火の元に気をつけて、良いお正月を迎えましょう。

そういえば私たちが会女時代盛んに競輪を議題としてデスカッションした事貴女も覚えていらっしゃる？その競輪が今年で廃止され取りかわし寸前の所十二月三日未明、不慮の火災により焼失した会高の分校に使われる様子で

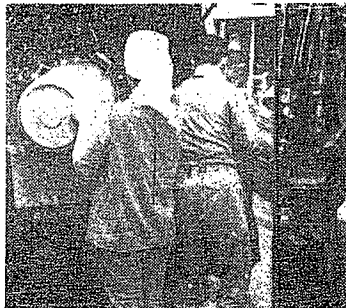
K子様。師走の声と共に本当にお寒くなりましね。近く数年振りに御帰郷との事。若松もすっかり変わってきつとびっくりなさいますわ。町角に立って子供を守る「緑のおばさん」の姿、公営住宅の充実、子供を水の危険から守る為の小学校のプールの増設、児童のレクリエーション・センターとして鶴ヶ丘に児童館が新設されるなど、地味ながら福祉都市に相応しい市政の発展は、子を思う親に好評を博していますよ。又、鶴ヶ丘改良住宅事業は着々進行し、去夏に私も主婦のマイク・ルボで訪問し、皆様の嬉しい表情をまのあたりに拝見して来ましたわ。人づくりはまず健全な環境からと申しますが、先ず先ずと申す所、全国屈指を誇るし尿処理場や食肉センターの新設は、将来の遠大な都市計画につながるものとして先見の明が感じ



御機嫌よろしう。さようなら

今年の主な市政のあしあと

市会議員選挙（4月20日）
 36の議席をめざして、市会議員の選挙は今春4月20日55名の候補者の間で行なわれた。
 93パーセントと前回より0.2パーセント上回った投票率は市民の市政に対する関心のたかまりを物語るものでしょう。



ゴミの定時収集

清潔な街づくりの合言葉で、市民と市役所が一体となったこの試みは、県下は勿論東北でもはじめ。2月から市内大町の一部モデル地区として始められて以来、今では大好評。ゴミ箱がいなくなった結果、道路も広く使えるという一石二鳥の効果は大したもの。
 地味ではあるが、市政の新しい方向として特筆したい。

今年一年の市政の歩み——それは新しい近代都市を目指して、市政の各分野において、逞しい発展のあとが見られました。
 衛生都市として欠くことの出来ないし尿処理場の完成、火葬場の建設など、農政面では、食肉センターの完成で新しい畜産振興策などが会津として新しい歩みがみられました。また住宅建設、道路の舗装も県下一の整備が行なわれ、学校の危険校舎の解消にあと一息というところでした。
 今年の主な市政の逞ましいあしあとを写真で綴ってみました。

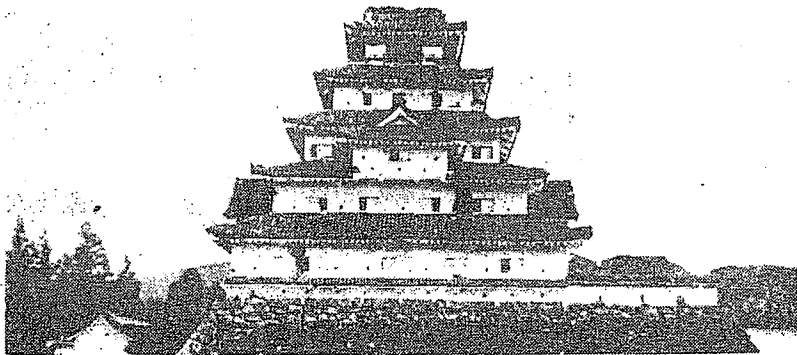
プログラム学習始る

子どもを持つ父兄の最も大きい関心事は、子どもたちの学力の向上です。そこで本市では、今年から教育施設の整備とあわせて、全市一斉にプログラム学習を採用。試験的に行なっている例はあっても、全市一斉というのは全国ではじめて。児童ひとりひとりが確実に力を身につけるこの学習方法は、来年は全科目に実施され、何年か後の子どもたちの学力は眼をみはるものがあるでしょう。



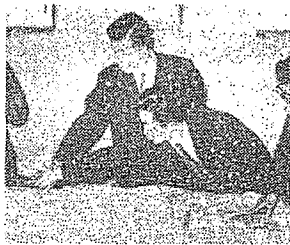
天守閣再建正式に許可

今年最大の話題のひとつは、天守閣の再建への歩み。この5月、文化財保護委員会より正式に許可もあり、市民の再建への関心と熱意も、すでにその機が熟したことを思わせませんが、全国各地からよせられる激励文や寄附もふえています。11月に第一高校女子部の文化祭で、再建の関心をアンケートで実施したところ、調査人員1,018名のうち再建希望者は94.6パーセントと、大部分の方が再建に賛成でした。



住居表示整備事業

城下町である本市の場合、「栄町」という名前ひとつをとってみても、初めての人は西も東も見当がつかない有様です。そこで会津若松市を、近代的に改造するには、住居表示の統一ということも望まれています。会津若松市は城下町として、発展した町だけに現代にそわないまち通りや番地が入り乱れている地内を再整備するものです。



火葬場の新築

今年度の市政には、会津若松の都市環境の整備のための重点的な事業が目立ちます。火葬場の新築もその一つですが、今まではスポーツセンター、鶴ヶ城に隣り合って環境的にも問題であり、老朽化した設備などを考慮して門田黒岩地内に新築しました。今までより近代的な設備でタビも1時間で行なわれるものです。



昭和38年工業調査の実施について

今年も12月31日現在で工業調査が実施されます。本年は国際連合勧告の趣旨を尊重し、1963年世界鉱工業センサスに参加協力するため、調査対象や内容について若干の変更が加えられました。対象については、今まで新製品の製造加工に従事する事業所のほかに自動車修理をする事業所が調査対象になりました。調査の種類については、

甲調査…従業員10人以上の事業所（昨年は4人以上）

乙調査…従業員9人以下の事業所（昨年は3人以下）

丙調査…製造工場を2以上経営する企業の本社本店、又は、製造工場と別の場所にある企業の本社本店

以上の三種類です。

内容については、原材料・燃料の使用額を品目別に改めたこと、自動車修理業の欄を設けたこと、工業用地および用水調査を正式に調査項目にあげたこと、その他調査票に若干の変更が、あります。調査が年末より年始にかけて行われます。何かとご多忙中迷惑とは存じますが、該当事業所におかれましては宜しくご協力をお願いします。

漆器団地いよいよ起工式

11月5日は、門田一ノ塚地内に日本でも最初の漆器団地の起工式が行なわれた。会津の一大伝統産業である漆器が新しい時代にふさわしく、零細な家内工業から協業化への脱皮をめざすものです。

総工費3億5千万円、3ヶ年事業で進められるこの一大団地は、今年の会津若松を語る上に欠くことのできない一つです。



会津開発への動き

経済の高度成長政策の課題のひとつは、我国の臨海地帯の工業化、新産都市の指定はそのあらわれですが、内陸地帯で地の利を占めない会津地方の開発も、2市5郡一致協力して進めなければと、全会津総合開発協議会が結成され、9月にはまず磐越西線、国道の整備などを政府に強く働きかけることになりました。

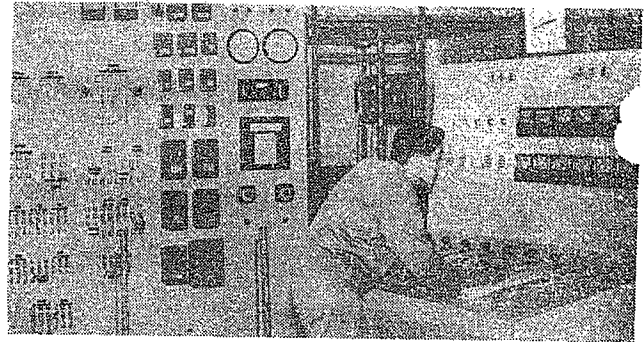


し尿処理場の完成

健康で美しい市民生活の第一歩——し尿処理場がついに完成しました。

大川筋に建設されたこの処理場は、近代施設の粋をもって建設された機械は、1日90キロリットル(500石)の処理能力を備えています。

これで、「大小便の汲みとりが来ない、おそい」の悩みも今年限りになるでしょう。



上水道拡張工事

約3億9千万を投ずる水道拡張工事今年で2年目、一箕の浄水場の拡張は殆んど終了しました。

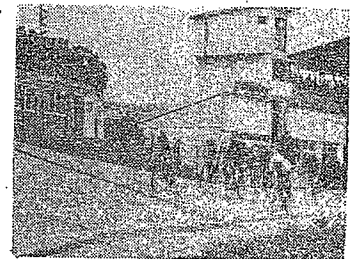
目下試運転中ですが、配水管工事が終れば、給水能力は約二倍、市民に不自由をかけない上に、農村地帯にも水道網が広がっていき、きれいな水が台所をうるおすのも間近のことになります。



県営会津競輪廃止

終戦直後の昭和25年に県と市の手で始められて以来、三、四中学校舎を以て、住宅、道路を果した競輪も今年限りで廃止。最近では市民会館建設費の約1億3千万円を稼ぎ出すという声もありました。

競輪場跡には屋内体育館、建物はその市の福祉関係ですが、火災にあつた市民の教室に1年間使われることになりました。



食肉センター完成

新しい農業への脱皮を象徴するかのうように、大川べりに誕生したこの施設は、牛、豚など畜産物価格の安定と、肉不足をコントロールすきもあります。

1日平均150頭は処理するという、この食肉センターは文字通り県下一の近代設備。

総工費5千4百万円。



児童館の建設

すっかり面目を一新しようとしていた鶴ヶ丘にまたひとつ自慢がふえました。こわくの子供のために——鶴ヶ丘の改良住宅建設事業と併行して、鶴ヶ丘つばくる公園の一部に児童館が完成。幼児だけでなく、青少年の指導が行なわれますが、図書室も完備、新しい方向をめざす福祉施設として、血の通った市政のあらわれのひとつです。

会津若松市の成長

上野貞夫

豊かな、上が期待されます。

私たちのまち会津若松は、美しい自然に恵まれた観光産業都市です。それを、より美しく、より豊かな住みよい都市への発展を希って、市では市民のための行政と新しい都市造りを進めております。これらの地方自治体の進め方は「古き時代」の非民主的、非能率、前近代的な姿であってはなりません。行政水準の維持向上を期するために、財政の健全性の上になつ自治体の体質の改善を図ることが先決でなければならぬと思ひます。会津若松の明かるい、各種の公共施設の建設整

無許可でビラ・ポスターのはり出しは出来ません

ビラ・ポスターなどのはり紙は土木事務所許可の印をうけなければなりません。許可の印のないものは法律によって、県が取りはずすことができるようになりました。禁止されている場所 例え、風致地区、神社やお寺の境内地、国、県、市、町、村が管理する公共用の建物や敷地、その他禁止されている場所、また、街路樹及び路傍樹、銅像及び記念碑、橋りょう、送電塔及び火の見やぐらなど看板、その他の広告物も土木事務所許可をうけなければなりません。禁止されている場所などは前と同じですが、広告物の大きさ、高さ、面積など、いろいろ制限がありますから、必ず許可をうけて下さい。許可手続きなどの問合せは、土木事務所におたずね下さい。

みんなて明るいお正月を

年の瀬をひかえたあわただしさのなかであって、迎えようとする新しい年にだれもが大きな夢と希望をたくしているこのごろでありましょう。

しかし私たちの身のまわりには、いろいろの事情で苦しい生活にあえている多くの人たちがあります。このように多くの人たちにもお正月を明るく環境の中で過していただき、勇気をつちかっていたり、いま才末たすけあい運動を展開しておりますが、毎日心ある人たちのあたたかい贈物がとどいております。



市内のよい子たちや一般の設に市から直接手わたされ人達が、自分のおこづかいを節約してためたお金や、月末までとっておき、月末までとっておき、お正月の衣装、本などが、毎年相当が、市民のみならず、数よせられておきます。こひとりやさやかな善意の運動によせられたお金、もちより、それがたすけあ品物は、市内の被保護世帯、い運動の大きな実となること要保護世帯や養老園、児とを希望したいものです。

童園、母子寮などの福祉施設

冬期間は平均使用量で

水道 積雪で検針ができません

水道部では今年も事情 月の平均使用水量をもっての許すかぎり冬期間検針を 認定しておき、あとになって実施いたしますが、積雪なから差額分を精算させてどで検針が出来ない箇所 いたいただきますのでご協力については例年どおり前三方 お願いいたします。

全国各地で行なわれているこの運動は、当市においても一日からくりひろげられました。今年のたすけあい運動の目標額は五十万円です。昨年は六十万円の目標額にたいして約八十万円もの金額にたっしました。今年もみなさまのご協力を得て、一戸あたり三十円ぐらいずつだしていただき、その造成資金にあてることになりました。

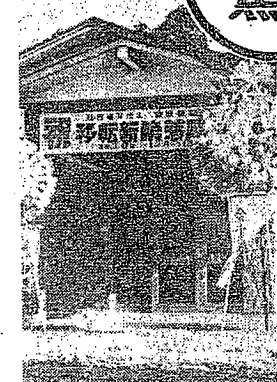
またこの運動の大きな特色は、小、中学生のおくりものが多いいことことです。

○中二校舎落成式が、このほど完成、7日午前10時から同校体育館で落成式が行なわれた。同校は旧連隊の兵舎を使用していたため、室内は暗く、不衛生だったので、30年以來9年たつたのを費やし、総工費約8千万円を投じ完成を急いでいたものです。普通教室24室、職員室や室内体育などで、市内中学校は最大の規模を誇るものです。



話題の焦点

○会津養老園は、昨年4月より東北一門田町黒岩地区に収容能力と設備を兼ねて建設されたが、11日午前11時落成式を行なった。落成式は総工費約400万円、新築された2倍余の静養室、診療室、防火設備なども完備されています。



戦傷病者・戦没者・遺族などの擁護法の改正について

戦傷病者戦没者遺族等擁護法は、本年四月大幅に改正されたのでその概要をお知らせします。

①準軍属(動員学徒、被徴用者、戦闘参加者、国民義勇隊の隊員)とその遺族の場合、軍人軍属の場合と比較して支給要件、遺族要件、支給期間などに大きな差があったが次のように改正されました。

1 戦時災害要件の撤廃
準軍属が公務上の傷病により傷害を受け、又は死亡したというだけでは障害年金、弔慰金及び遺族給与金が支給されなかったが、死亡の原因は軍人軍属と同様になった。

2 遺族要件の緩和
父母が六十才以上であっても他に扶養能力ある直系血族がある場合、又は所得額などにより制限があったが、「六十才以上」であれば遺族給与金を支給されます。

3 遺族給与金の年金化
遺族給与金の支給期間の制限(五年間)を撤廃しました。

(四)特殊勤務の満鉄職員
あらたに対象となったものには鉄道、航空、通信などの業務を行なっていた満州、北支、中支などの国策会社で、軍の指揮監督のもとに事実上軍と同様の勤務に専ら従事した間に公務上負傷した者、又それにより死亡した者の遺族に障害年金又は弔慰金及び遺族年金が支給される。

昭和十八年頃千島の基地建設の勤労挺身隊、太平洋上の哨戒にあたった特殊漁船乗組員を含む。

(五)内地、朝鮮、台湾、樺太、千島などに勤務していた有給軍属の処遇改善。
有給軍属は戦地においての公務傷病者、又はこれにもとずく死亡者の遺族のみ擁護法の適用を受けていたが今度は、内地、朝鮮、台湾、樺太、千島(但し北朝鮮、樺太、千島はソ連参戦の前期間)勤務の公務傷病者(障害年金)又はこれによる死亡者の遺族(遺族給与金)も適用を受けることになった。

(六)勤務(内地などの部隊)に關連する傷病により昭和十六年十二月八日以後死亡した軍人の遺族に支給される特別弔慰金について、
改正前の規定では死亡した者の死亡が在職中又は退職後一年(結核については三年)以内の場合に限られていたが、退職後一年を二年(結核などについては六年)に緩和された。

以上の改正につき昭和三十八年十月一日から請求書類(すでに厚生省から却下裁定通知書を受けた者も改めて請求できる)を受付致しております。くわしい事は市の社会課においての上おたすねください。